

広報チームが行く！



鳴瀬川流域調査の巻



Vol. 02(2020/08/05)



国土交通省 東北地方整備局
鳴瀬川総合開発工事事務所

広報チームは、鳴瀬川総合開発事業及び関連する地域の情報を様々なメディアを活用し「親しみやすく」「わかりやすく」広報する事を目的に令和2年6月に鳴瀬川総合開発工事事務所の職員で結成したチームです。

鳴瀬川の河口まで調査してみよう！！

ダム建設の目的は、ダム下流における洪水被害の軽減や利水補給です。
ダムは、下流で効果を発揮するものなので下流の状況を知っておく事は重要です！！



鳴瀬川河口と野蒜水門



吉田川と鳴瀬川合流点

と、言うことで今回は、7月20日に実施した吉田川～鳴瀬川河口、旧北上川河口までの流域調査の一部紹介します！！

吉田川に到着！



吉田川の災害復旧現場

まず、最初に訪れたのが令和元年東日本台風により被災した宮城県大和町粕川地区。

北上川下流河川事務所吉田川緊急治水対策出張所の方が吉田川の災害復旧の進捗状況などを説明して下さいました。

野蒜水門に到着！

東名運河と野蒜水門



※野蒜築港は、日本初の近代復興として長崎港や横浜港に先立ち、明治11年にスタートしたのですが、明治17年9月の台風被害により打ち切りとなりました。

鳴瀬川から松島湾を結ぶ東名運河は、明治政府による野蒜築港に合わせて開削されました。

野蒜水門は、高潮や洪水時に鳴瀬川からの逆流により浸水被害を防ぐため平成に15年に建設されました。現在の野蒜水門は、東日本大震災の復旧事業において平成29年に完成しました。

船舶の通航があるため、ゲートは観音開きのマイターゲート形式で、壁面は煉瓦張りとなっています。

「野蒜水門は周辺環境や歴史的背景等に考慮した造り・景観となっています」

(^_^)v

かわまち・日和山に到着！

いしのまき元気いちば



お昼は、石巻市の旧北上川にある“いしのまき元気いちば”で。

“いしのまき元気いちば”は、東日本大震災の復旧事業とあわせて「旧北上川かわまちづくり」において、旧北上川の堤防と一体となって整備されています。

昼食後日和山へ移動。
旧北上川河口部を日和山から視察。

「日和山公園は桜の名所として知られています」

(*^_^*)

最後は石井閘門！！



石井閘門

最後に、石井閘門へ。旧北上川から鳴瀬川までを結ぶ北上運河は、野蒜水門と同じく野蒜築港に合わせて開削されました。

石井閘門は、北上川と運河の連結点に水位調節などのために明治13年に完成しました。

「日本最古のレンガ造り西洋式閘門で重要文化財に指定されている閘門です」

(^o^)/

今回は、鳴瀬川の下流部から旧北上川河口部を調査しました。広報チームは、これからもいろいろなところに調査（取材）に行き、事務所ホームページ、twitter等で広報していきます☆ m(_ _)m

twitter

